

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見資料①

平成29年10月31日

総務部総務課

担当：佐々木

連絡先：022-358-0621

県内初「富谷市と村田町による自治体クラウド導入に係る協定締結式」について

市では、市町村の税や福祉といった基幹系の情報システムについて、庁舎内での管理・運用から外部民間データセンターでの管理・運用に代え、ネットワークを経由して、村田町とシステムを共同利用する自治体クラウドを導入いたします。

今回、対象業務を税や福祉の15業務として、平成30年10月に導入することで両市町間で合意形成され、県内初となる自治体クラウドの導入が決まったものです。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ、取材していただきますようお願いいたします。

記

1. 日 時 平成29年10月31日（火） 午後4時～午後4時30分
2. 会 場 宮城県行政庁舎4階 庁議室
3. 出席者 富谷市長、村田町長、宮城県副知事（立会い）
4. 対象業務 15業務
（共通）①宛名管理、②収納管理
（住民基本）③住民記録、④人口統計、⑤印鑑登録、⑥選挙、
⑦国民年金、⑧学齢簿
（税務情報）⑨個人住民税、⑩固定資産税、⑪法人住民税、
⑫国民健康保険、⑬軽自動車税
（子育て） ⑭児童手当、⑮医療費助成
5. 導入のメリット
①運用コストの削減、②セキュリティの向上、③耐災害性の向上など
6. 導入状況
全国60グループ、356団体〔平成29年4月現在 総務省調べ（精査中）〕
※宮城県 導入実績なし

平成29年10月31日

震災復興・企画部情報政策課

[担当] 長谷川・真壁 内線2472

富谷市と村田町による自治体クラウド導入に係る協定締結式

富谷市と村田町による自治体クラウド導入に係る協定締結式の概要は下記のとおりです。

記

1 日 時 平成29年10月31日（火） 午後4時～午後4時30分

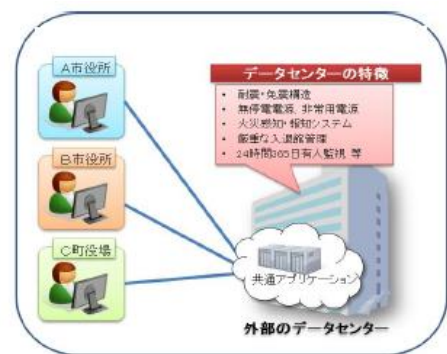
2 場 所 宮城県行政庁舎4階 庁議室

3 出席者 富谷市長 若生 裕俊

村田町長 佐藤 英雄

宮城県副知事 山田 義輝（立会い）

※自治体クラウドのイメージ



4 協定概要

宮城県は、富谷市と村田町の自治体クラウド導入に係る支援を行ってきたが、今回、対象業務を税や福祉の15業務として、平成30年10月に導入することで両団体間の合意形成がなされ、県内初となる自治体クラウドの導入が決まったもの。

※対象業務（15業務）

（共通）①宛名管理，②収納管理

（住民基本）③住民記録，④人口統計，⑤印鑑登録，⑥選挙，⑦国民年金，⑧学齢簿

（税務情報）⑨個人住民税，⑩固定資産税，⑪法人住民税，⑫国民健康保険，⑬軽自動車税

（子育て（福祉））⑭児童手当，⑮医療費助成

5 自治体クラウド

（1）自治体クラウドとは

市町村の税や福祉といった基幹系の情報システムについて、自庁舎での管理・運用から外部民間データセンターでの管理・運用に代え、ネットワークを経由して複数自治体で共同利用する取組。

（2）自治体クラウド導入のメリット

①運用コストの削減，②セキュリティの向上，③耐災害性の向上など

（3）国の支援等

国は、自治体の業務効率化と経費削減等を念頭に、自治体クラウドを推進するため、移行経費の財政措置などを設け積極的に支援している。

（4）自治体クラウドの導入状況〔平成29年4月現在 総務省調べ（精査中）〕

① 全 国 60 グループ，356 団体

② 宮城県 導入実績なし